



紀宝町

議会だより

平成19年9月1日発行（第5号）



平尾井薬師（平尾井）

議

会

日

誌

平成19年4月～6月

- | | | | |
|-------|--|-------|---------------------------------|
| 4月20日 | 三重県町村議会議長会理事会（津市） | 28日 | 熊野川流域対策連合会 |
| 27日 | 南牟婁郡交通安全対策協議会委員会（御浜町） | | 熊野川河口大橋建設促進議員連盟総会（新宮市） |
| 5月11日 | 議会運営委員会 | 29日 | 災害・環境保全対策特別委員会 |
| 14日 | 国道169号線改良促進連絡協議会総会（熊野市） | 30日 | 紀南環境衛生施設事務組合議会臨時会（新宮市） |
| | 熊野尾鷲道路建設促進期成同盟会総会（熊野市） | 6月 1日 | 南三重活性化協議会設立総会（松阪市） |
| 15日 | 熊野川河口大橋建設促進議員連盟役員会（新宮市） | 6日 | 全員協議会 |
| | 総務財政常任委員会 | 7日 | 紀南社会福祉施設組合議会臨時会（熊野市） |
| 16日 | 紀宝バイパス建設促進要望活動（紀勢国道事務所、中部地方整備局、国土交通省）〔17日まで〕 | 12日 | 議会運営委員会 |
| 18日 | 紀南介護保険広域連合議会臨時会（熊野市） | 19日 | 第2回定例会・第1日目 |
| | 熊野川河口に橋を架ける会理事会・総会（新宮市） | 20日 | 第2回定例会・第2日目 |
| 21日 | 近畿自動車道紀勢線〔熊野市・新宮間〕建設促進期成同盟会総会（紀宝町） | 21日 | 第2回定例会・第3日目 |
| 23日 | 紀宝地区交通安全協会総会（御浜町） | | 熊野川流域対策特別委員会・総務財政常任委員会
合同委員会 |
| | | 25日 | 災害・環境保全対策特別委員会 |

6月定例会

一般質問

(要約)



榎本 健治 議員

- ・観光資源の有効活用について
- ・本庁舎増築について
- ・心のバリアフリーについて
- ・紀宝町総合計画について

観光資源の有効活用

議員

平成十九年第二回紀宝町議会定例会は六月十九日に開会しました。第一日目は、まず初めに、議長報告と各委員会委員長報告があり、続いて、町長から、第一回定例会以降の町行政各般にわたる報告がありました。その後、一般質問が行われ、第二日目の二十日及び第三日の二十一日にわたり十三人の議員が、諸課題について当局の考え方を質し、活発な議論が交わされました。引き続き、議案審議に入り、専決処分案件二件を承認した後、条例の一部改正案件三件、総合計画の策定案件一件、規約の改正案件一件、平成十九年度一般会計補正予算案並びに老人保健特別会計補正予算案をそれぞれ可決しました。また、一件の請願を採択し、この請願書に基づく意見書一件を可決し、閉会しました。

紀宝町には観光資源が沢山あります。有効に活用した町おこしについて、今後どのように進めていくのか。

担当課長

恵まれた自然環境と歴史的世界的価値を持つ資源を十分に活かした、観光の振興を図っていく必要があると思います。「熊野川体感塾」では、体感型の観光事業として、川下り事業に取り組んでおります。今後は、入込客数の確保に向けて、情報発信を強化することが必要だと思います。

議員

まだまだ観光に対しての宣伝、また集客に対するPRが足りないのではないかと思います。

しております。そこで、紀宝町では、今後、フィルムコミッションというような取り組みは考えていないのか。

担当課長

フィルムコミッションですが、映画関係とか、テレビ関係、そういう関係の誘致という活動等のことだと思います。紀宝町だけでなく東紀州観光町づくり公社等の観光部門で、検討させていただきたいと思っております。

議員

フィルムコミッションというHPを作成すると、劇場公開映画、自主制作映画、テレビドラマ、ドキュメンタリー、プロモーションビデオ、

議員
増築される庁舎は、ユニバーサル・デザインになっていますが、既存の本庁舎部分はバリアフリー化されていない箇所があります。議場の傍聴席入口はバリアフリー化になっていません。エレベーターが新設され三階までスムーズに行けます。段差をなくすように配慮する必要があると思う方が取り組み考えは。

担当理事

傍聴席へ入るところは確かに段差になっております。それはできると思います。できるところはすべてバリアフリー化に向けてやっていきたいと思っております。

議員

是非増築に合わせて、バリアフリー化をしていただきたいと思っております。特に、増築される部分の屋上は避難箇所にもなります。本庁舎側二階の屋上への出入り口箇所のバリアも改善していただきたいと思います。

心のバリアフリー

議員

心のバリアフリーについて

本庁舎増築

行政の取り組んでいる状況をお伺いします。

担当理事

職員教育が、まず重要になるのではないかと考えております。人権教育を通じ人権意識の高揚を図ってきておりますが、更に研修等を重ねてまいりたいと考えております。

議員

「障害」という言葉の表記についても、一つ考えていただきたいと思っております。「障害」の「害」という字です。障がいを持たれた方には、差別と受け取られる場合もある。ひらがなの「がい」へ変更するなど、表記についてどう考えているのか。

担当課長

五月に県の健康福祉部の方から、今後、県からの文章すべて障害の「害」の部分をはらがな表記にしていくという通達がまいっております。これから福祉課の方も見直し、各課においても見直しの推進を図っていただきたいと思っております。

議員

昨年、通常国会で自殺対策基本法が制定され、各自治体では、その目標を定めて、自

殺対策に推進していかなければならないというような取り組みが法制化されました。総合計画策定の中で自殺対策をなぜ盛り込まれていなかったのかお伺いします。

担当理事

議員ご指摘のように、自殺対策防止法が昨年成立いたしましたので、紀宝町全般としては、やらなければいけないと思っておりますけれども、今後、アクションプランを作ら、より具体的なものを作り上げていかなければいけないかと思っております。

議員

実施計画の中で、具体的にを入れていくということで認識してよろしいでしょうか。

担当理事

特に健康づくりに関わる中では、そのセクシヨナリズムと言うのも、是非やっていきたいと思っております。

議員

この紀南地方でも、自殺者数は大変多いと聞いております。十万人当たりで、三重県平均では十九・六人、この紀南地方では二十九・七人と言われています。また一人の方

が自殺されたら、周りで五、六人の方が心を病んでしまうという統計もとられております。家族の方や遺族のケアも含めて、実際の実施計画の中で具体的にアクションプランを作り、社会問題として取り組んでいただきたい。

紀宝町総合計画

議員

紀宝町総合計画では、開かれた行政の推進という項目で「行政情報を発信していくことが求められます」と明記されております。光ファイバーを利用して、議会中継をする考えはないのか。

担当理事

公共施設で今のところ二十五箇所に接続しております。費用的な面で、どのくらい掛かるかといったところまでまだ検討はしてございません。

議員

費用は掛からないと思えます。既存のカメラも「まなびの郷」にあります。旧の鶴殿村のときに、まなびの郷の竣工式に福祉センターの方で中継しました。テレビも光ファイバー回線もあり、お金は掛

からず、できると思うのです。いかがですか。

担当理事

費用的な面で掛からないということでしたら、一応、検討はさせていただきたいと思えます。

議員

具体的に町長、これから新しい情報化社会へ入っていく中で、議会中継の実施に向けて取り組んでいかなくてはいけないと思うが。

町長

情報提供については、鋭意取り組んでいかなきゃならないということは強く思っております。議員の皆様方全員ともいろいろと協議しながら、より良い方向で情報提供できる方法を十分検討していきます。

議員

総合計画に盛り込んでおられるのなら、積極的に情報発信については取り組んでいただきたい。

※この他に、井田小僧ノ上の町有地の件について質問がありました。

※榎本議員の一般質問については、本人のホームページに掲載しています。

(<http://www.enomokenji.com/ipan.htm>)



矢熊 敏男 議員

・災害に強い町づくりに
いて
・健康文化のまち推進会議
町民部会と町当局との協
働について

他

災害に強い町づくり

議員

五月二十九日の災害・環境保全対策特別委員会による、町内巡視を基に、町内河川の現状や水害対策について質問します。相野谷川水防対策事業の、輪中堤と排水システムのご説明をお願いします。

担当課長

相野谷川は、出水時、熊野川の水位が上昇すること、相野谷川への逆流状況を確認しながら鮎田水門ゲートの開

閉を行い、閉鎖されれば、相野谷川流域の水が熊野川へ流出されないため、水位が上昇し、それに伴い、鮎田、高岡、大里地区の各輪中堤施設等を、水位及び現場状況を確認しながら必要に応じ閉鎖します。また、内水が相野谷川へ流出されない状況になり堤内の水位が上昇する。高岡、大里地区は、町により設置した排水機場ポンプで堤外に排出されます。鮎田地区は、国の排水ポンプ車を要請し、堤外に排出します。以上三地区の内水対策により、相野谷川の水位上昇の発生が考えられ、

国において、影響を軽減するため、相野谷川排水機場の工事が行われています。

議員

まず設計理論通り、輪中堤が機能するのか。例えば想定外降水量、ポンプの作動や操作、停電時、配線やスイッチ盤の被害など問題点も多い。

担当課長

機能するという事です。

議員

現在、鮎田地区は移動式ポンプで、他地区は排水機が付いている。相野谷川排水機場は、まもなく完成する。輪中

堤完成後大雨があったか。また水位が九・四mを超える、設計理論が成り立たないのですか。

担当課長

十六年に相野谷川流域に降雨が四十mm程度。輪中堤まで水位が上がってこなかった。九・四m以上だと、崩壊すること考えられます。

議員

鮎田の移動式ポンプは、大雨の時迅速に移動、操作ができるのか、非常に不安である。

担当課長

今後、国と協議していきたいと考えております。

議員

町は、この輪中堤システムを過信しないで、地元住民には早め早めの、情報伝達や避難対策が重要だと思えます。

担当課長

住民の水防活動等を啓発していきたいと考えております。

議員

ホタルを守る会で、町内の川を観察、驚くことに、小さくさんの河川がありました。管理はどこでしょうか。

担当課長

町内には、百十三河川あり、内、国管理が二河川。県

管理が二十一河川。町管理が、九十一河川ございます。

議員

現在、どのように、巡視や管理をられていますか。

担当課長

洪水時の可能性の高い相野谷川、井田川、神内川は、大雨時には職員パトロールを行い、状況により近接道路の通行止め等の処置を取っている。

議員

頻繁に巡視をお願いしたいと思えます。次に、町内の急傾斜地の現状と対策について、ご説明をお願いします。

担当課長

町内で百九十五箇所が危険区域の指定を受けております。対策として、急傾斜地対策事業、治山事業を実施しております。

議員

急傾斜地の安全対策をお願いします。井田海岸の防風林の現状説明をお願いします。

担当課長

比較的大きな松、弱った松が枯れている状態です。適切な樹種を選定し植栽を進めていきたい。

議員

井田海岸において、台風時

などに浜の砂利が、国道や民家に被害はないのか。

担当理事

防砂ネット等が一部実施されています。

議員

残念ながら世界遺産の浜街道の景観が損なわれている。しかし生命や財産の安全が第一ですので、今後の課題。井田海岸や鶴殿港の防波堤で、老朽化が進んでいないか。高さも心配。

担当課長

井田北地先の現況天端高が海拔八・一m、十・四m。井田南地先の現況天端高が海拔七・八m、八・五m。これは旧国道から御浜町側で、堤防、護岸の耐久性危険度が低いことから、方向性を環境維持海岸として、人口リーフ、人工海浜等の事業を継続していく整備計画案が作成されています。

議員

本町のホームページの洪水ハザードマップが平成十一年三月現在とあり、輪中堤には、触れられていない。理由がありますか。

担当課長

輪中堤は既成しております

が、内水については、現在、整備中であります。

議員

ホームページのトップに「ウミガメが産卵に来る町」と大きく出てきます。そこでは是非、ウミガメが産卵に来て、安全で美しい井田海岸を取り戻したい。また本町には、ウミガメ条例、ウミガメ公園などもあります。町長さんには、頑張ってもらいたい。

町長

議員ご指摘のように、海浜の養成に向けて取り組んでいきたい。

――町民部会との協働

議員

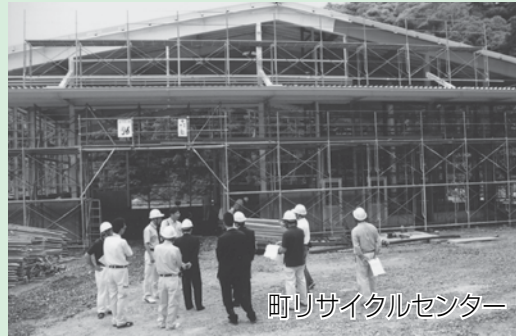
先日「健康文化の町推進会議町民部会」の総会に出席しました。この会は平成九年二月に、「健康文化の町づくり」を目標にスタートし、我々町民の健康づくりに貢献してくれています。健康管理担当理事二村先生のご努力に敬意を表します。先生の「医療制度が変わります、私たちの健康は」の講演にも感銘を受けました。これからも町民部会と行政が、「健康文化の町」づ

災害・環境保全対策特別委員会 町内巡視

災害・環境保全対策特別委員会による町内巡視が5月29日に行われました。町内災害・環境関連施設、工事箇所及び事業所等の説明を受けました。



生ゴミ堆肥化施設



町リサイクルセンター



砂防工事



防潮壁

くりに、更に協働して行くべきだと思います。

町長

行政と町民が、協働して取り組んでいきたい。

健康づくり検診

議員

「健康づくり検診」は是非続けて欲しいと思います。

担当理事

特定検診、特定保険指導として、来年度から行われます。

農業に関する諸問題

議員

「百姓塾」を発展させて、農業振興、地域の活性化や、後継者、若者、Ｉターン・Ｕターン、団塊の世代、定年退職者などに、就農支援や田舎暮らし斡旋などのため、小学校の休校舎や、休耕田畑などを活用して、「ふるさと農業塾」（仮称）を開設したらどうか。指導者は、地元ベテラン農業者をお願いし、米だけでなく柑橘・野菜・花・林業などの栽培にも取り組めるような「塾」を提案したい。

担当課長

現在、熊野農林商工環境事務所を中心として、紀南地域担い手対策協議会の設立を検討し、協議しております。

議員

町独自で、町内に創設することが必要だと思います。是非、積極的な検討をお願いしたいと思います。

※この他に、集落機能再生・きっかけづくり事業の件、ハッチョウトンボの件について質問がありました。



北山 千恵 議員

- ・通学路について
- ・合併の枠組みを探る公式訪問について
- ・駐輪場の建て替えについて
- ・増築庁舎建設の入札について

通学路

議員

神内から矢渕中学校に通う生徒が通る堤防沿いや新宅自動車横の道を、安全性を考慮し、舗装はできないのですか。

担当課長

基本的には川を管理するための道で、生活道路として位置付けがないために通学路として整備することは難しい。

議員

実際に生徒たちが利用している道ですから、安全性を考慮し、整備していただけるよう要望します。

合併の枠組みを探る公式訪問

議員

新聞報道で、御浜町長が合併の枠組みを探るため、公式訪問するという記事がありましたが、どういうお話でしたか。

町長

お互い町づくりに対する思いとか話し、理解しあえた。御浜町長の思いは合併を前提に、公約でしたからね、そんな思いを話していただき、私は合併後の町づくりに一生懸命取り組んでいる旨を話しました。

総務財政常任委員会 ～ 町内巡視 ～

5月15日に、総務財政常任委員会が開かれ、ウミガメ公園、小僧ノ上町有地、庁舎増築敷地を巡視し、当局より説明を受けました。



井田川河川公園



井田小僧ノ上町有地



庁舎増築敷地

議員

平成二十二年まで、新合併特例法が施行され、国や県が更なる合併を進めている訳は何と思いますか。

町長

この前の合併特例法の期限が終ったので、合併したくてもできなかったところへの支援策だと思っている。

議員

十年後、二十年後の紀宝町は、お年寄りばかりになり医療費が嵩み、町の財政を圧迫し大変な財政状況になってくるとは思いますが、どのようにイメージされ、その時に備え、今町として何に力を注ぐべきだと考えておられますか。

町長

新町の基本方針として、とにかく若者に住んでもらう、そういった政策を展開すべきと思っているし、高齢者の皆さんが生きていたただけのことが第一であり、若者が一生懸命働き、安心して子育てができる、また、子どもたちの賑やかな声が聞こえる、そういう活力のある元気な紀宝町を目指したい。

議員

十年後、お年寄りばかりになる紀宝町で医療費を押さえるために、生活習慣病の予防や病気の早期発見のために年一回、最低各地域で検診を行なっていくことは大切なこと

と思います。また、団塊の世代が元気な今、ボランティア貯蓄をしておき、自分が困ったときには優先的に実費を払ってサービスを受けられるなど、配食サービスの組織化等を図っておくことは大事なことに感じています。自助、共助の組織化をボランティア貯蓄という形でできればというふうに考えますが、自助、共助の組織化をどのように捉えていますか。

町長

大変良いご提案、ありがとうございます。私も町民の皆さんと創意工夫しながら、創造していくことが基本理念でございます。配食サービス等も今やってもらっているものを全町的に広げていく中で、共同というか助け合いの社会を作っていくことは大事なことで、すし、医療費や検診につきましても、ご指摘の通りだと思います。これから検診を進める中で、病気の早期発

見、早期治療により健康寿命が伸びること、元気で健やかな町づくりができると考えています。

議員

今や国や県も大変な借金を抱えており、国民一人当たりの借金が約六百万円もあるそうです。町単独でやっていく道を選ぶのなら、十年先の紀宝町の財政シミュレーションをしっかりとやり、今のうちからそのようにやっていくようにしっかりとした行財政運営をやっていくべきと考えます。思いつきのような箱もの建設や、突然言い出した駐輪場の建替えなど、思いつきのような計画はやめて、十年先、二十年先の紀宝町に本当に必要な物を選んで建設すべきと思いますが、いかがでしょうか。

町長

議員の言われるようなことでもあると思うが、逆に町づくりに関しては商店街も近郊にあるので駅前などは過疎化が進んでいる中、当然必要となるものには取り組んでいきたい。借金をしなければ事業ができないのも事実だし、子や

孫に背負わせるのは大変辛い部分もあるが、それが子々孫々のためや地域振興のためになるってことは、そこで生活していただく人のためにもなるだろうと考えます。十分連携をしながら、皆様とも相談をし、町づくりを進めていきたい。

——駐輪場建て替え

議員

全協の場で、突然に約四千八百万円もかけて今ある駐輪場の建て替えや鶴殿駅前を整備計画を説明してもらいましたが、住民の強い要望があり、そんな計画をしたのですか。

担当課長

今の建物は二十九年経過しており、老朽化が進んでいるし、三方が壁のため防犯上好ましくない。また今のものでは収まりきれないので、JR等にも協力してもらい進めたい。

議員

何度も現場を見に行っていますが、当局が説明した二百五十台もの自転車が止まっていたことが一度もない。平日で

百二十〜三十台です。その中には放置と思われるものが十八台ありますし、駅に一番近い場外に駐輪しているものが三十一台ありました。なぜだと思われますか。

担当課長

今の駐輪場では百台も入らないのではと思っています。

議員

では、鶴殿のときは何台を見込んで建てられたのですか。

町長

昭和五十三年に建設し、今よりは生徒数も沢山あったときに建設したのですが、収納台数は把握していません。

議員

町長が言われるように一部錆びがきて、腐食されている部分もあります。溶接すれば修理可能と思いますが、どうしても建て替えるのなら、駅に一番近い所に横一列に駐輪できるよう簡単なもので良いと思います。折角四千八百万円もかけて奥の方に整備しても利用者の皆さんに喜んでくれないようなものなら無駄遣いとなってしまいます。あまりお金をかけないで利用者の皆さんに喜ばれるものを要望します。

——増築庁舎建設の入札

議員

ネットで「三重紀宝庁舎増築、日新設計で設計進む」という記事がありました。設計入札はいつ行なわれ、入札には町内の設計業者も参加されたのですか。

担当課長

実施設計の委託は、まだしていませんが、現庁舎と増築部分が接合する構造になりますので、現庁舎を設計し現場を熟知している設計業者と随意契約を検討している。

町長

庁舎の平面図等も日新設計の図面を渡しているし、私もこれまで通り高度な技術を持ち信頼性の高い、日新設計にお願いするのが適切だと思っているし、日新設計でいきなりと説明したつもりです。

議員

増築部分の図面は全協の場でいただいたが、入札もせず日新設計と随意契約するということ説明はありませんでした。こういったことは議会軽視にも繋がりますし、景気が低迷

している中、町で行なう事業には、町内の業者も公平に参加できるよう情報公開し、入札するチャンスを与えるべきと思います。そのことを要望します。

※この他に、ウミガメ公園指定管理者の件について質問がありました。



向井 健雅 議員

・水道行政について
・雇用の確保と新産業の創出について（紀宝町総合計画の中から）

——水道行政

議員

施設の現状は。

担当理事

現在の浄水施設は昭和五十二年に整備され今年で三十二年。原価償却費の大きな設備

としては、当初より整備されている「急速ろ過施設」と、平成十三年に整備した「膜ろ過施設」があり、この二つの施設により浄水処理を行っています。急速ろ過施設については、かなり老朽化が進んでおり、昨年度より改修工事を行っております。

議員

今後、その老朽化している施設の改修計画は。

担当理事

改修計画については、主に急速ろ過施設の改修工事でありますが、三カ年となっており、昨年度三千二百二十九万円の工事を行い、本年度は四千六百万円を予定、平成二十年度は四千三百万円を見込んでおり、全体工事費として約一億二千万円の工事費となる見込みであります。また、膜ろ過施設については、ろ過膜の標準耐用年数は平成二十年までとなっており、経費については、約一億円となっていますが、維持管理を毎年行っており、平成二十一年度において全ての、ろ過膜交換を行うのではなく、多年度に分けての工事も視野に入れ、現在検討しているところであります。

議員

企業債が二十二億三千万円、現金の預貯金が一億七千万円程度。企業収益が一般会計からの繰入れを除いて、二億三千万円程度。返済も含めた中で毎年五千万円程度の赤字であります。先程の改修計画も含めた中で、水道料金の見直しもどうなるのか。もう一つは一般会計の三千万円の考え方は。

担当理事

水道料金の見直しでありましたが、平成十八年度における経営状況については、給水収益が二億二千二百十五万八千円、経常費用は二億七千三百十万円、そのうち支払利息が四千八百五十六万三千円、町からの繰入金三千万円がこの利息支払分に充てられております。十八年度の収益的収支における純損失額は、約二千万円となっており、平成十七年度と比較しますと、約六百万円減少しております。今後の資金計画は、現金残高は平成十九年度一億七千三百四十二万円、二十年度一億三千三百八十二万円、二十一年度から四力年で、ろ過膜の交換を行った場合、二十一年度に一

億七百十三万円となり、二十年度で現金残高八千九百四十万円になります。平成二十三年度には企業債返還が九千八百万円あり、資本的支出が一億九百四十三万円となり、二十三年度には約二千万円が不足する状況となっております。今後、財政計画を抜本的に見直し、支出を抑制したいと考えております。

議員

二十三年度から不足するということですが、来年度も一般会計からの三千万円は同じという考えでよろしいんでしょうか。

担当理事

来年度も三千万円の助成であります。

議員

町内の未給水地の問題で、未給水地域、桐原、小畑、浅里、北松杖。それぞれの抱えている問題点の考え方についてお聞きます。

担当理事

町内全域において上水道を整備し、安全・安心な、また安定した水の確保を行うことが重要な課題となっております。簡易水道、上水道の調査を本年度から始めておりま

す。今後、財政状況、地域の実情等を勘案しながら、未給水地区については、検討してまいりたいと思っております。

議員

「水」は、日常、必要不可欠なものであり、地域の方と話し合いをされ、十分検討をしていただきますようお願いいたします。

雇用の確保と 新産業の創出

議員

工業団地への企業誘致など、どのように進めていくのか。若者が安心して定住できるための雇用の確保を、どういった努力をされているのかをお訊ねいたします。

担当課長

井内工業団地につきまして、現在、十区画中八区画に企業の進出がされております。企業誘致については、県企業立地室や、東京・大阪事務所を通じて誘致活動や、企画調整課に直接お問い合わせいただいた企業様には、担当職員等で相手先企業に向向き、積極的な誘致活動を行っ

ております。平成十九年度から県におきましては、南部地域の特性を活かした産業にスポットを当てた、産業誘致に取り組んでいただいております。「地域資源活用型産業など立地促進補助金」を新たに創設していただいております。また、町におきまして、固定資産税の特例措置を利用し、進出企業に魅力を発信し、誘致活動を行ってまいりたいと思っております。

議員

町長の政治公約であり、町総合計画の中にもあります、産官学の連携によってということですが、その後、進展はございましたか。

町長

産業全体の中から、問題を提起していただいて、それに対して官も協力し、学も町を通して参画指導していただくという考えでございます。意欲のある部分については、町としても一生懸命支援ができる体制作りをしていきたいと思っております。

担当課長

一つ興しているのは、熊野川体感塾との共同で、近畿大学の指導により、インターネ

ット等を利用した産業興しを進めているところであります。

議員

こちらにある産業の中から、また新しいものを考える。そしてもう一点は企業誘致、という二点に分けて、これからも取り組みをしていただきたいと思えます。今、高速道路の問題で頑張っている訳ですが、早期完成・実現すれば、福祉であるとか、商業的にも現状を打破できる何らかの糸口になるのではないかと思います。後はこちらの受け皿を、しっかりとしていかなければならないと思います。



西村 喜久男 議員

- ・地区懇談会について
- ・ゴミ問題、不法投棄対策について
- ・農業用水施設の整備について

地区懇談会

議員

四月十二日から二十五日までの日程で、町内八箇所地区懇談会が開催されました。住民主体の町づくりを推進していくために住民の皆さんから、直接ご意見やご提案を伺う機会を持たれることは、大変有効なことだと思います。ただ伺って終わりではなく、行政として検討しどのように活かしていくか、住民の皆さんに報告義務があると思います。そこで、各会場で出たご意見やご提案について、私なりに気がついた点を、いくつかお伺いしたいと思います。初めに、懇談会に提出された総合計画の資料が少ない、具体的でないという意見が何会場かであったと思いますが、どう思われましたか。

担当課長

資料が少ないのご意見をいただき、今後、地区懇談会等の配布資料には、十分検討したいと思います。

議員

新庁舎の屋上が、避難場所としてスペース的に大丈夫か

等の、地震と津波に対しての不安や心配がいろいろ伺えたと思います。津波発生時には、少しでも早く高いところに避難することが大事だと聞いております。地元企業やスパー等と、協力度体制を結んでいく必要があると思います。このことに関しての取り組み状況をお伺いいたします。

担当理事

新庁舎の屋上が避難場所になり、大勢の方が来られても、屋上から庁舎の二階へ通路を設け、庁舎側へ避難していただく考えでおります。協力度体制の件は、あくまで非公式ですが、警察官舎を一応避難所として考えています。マル井さんの方にはまだあたっております。

議員

心配される鵜殿海岸付近の方に、近くで一番高い、マル井さんとかサンライトさんとも提携をもたれて、住民の方が安心して生活できるようよろしく願います。それと、地震が起きた場合、その後の住民の方への心のケアが必要だと思えます。心のケアに対する取り組み状況をお伺い

いたします。

担当理事

震災後の心のケアの問題は、非常に大切な問題と思っております。保健センターの保健士も研修を受けており、今後も研修の機会があれば行き、自分たちでも勉強するようお願いしたいと思います。

議員

地震はいつ起きてもおかしくない状態です。どうかよろしくお願いいたします。次に、井田海岸浸食対策について、職員が現場に来て浸食の状況を測ってアクションを起こすこともしないで、県まかせになっていないかという意見がありました、いかがですか。

担当課長

国道から海岸までを測っているかの問題については、県の測量データと二重データができた場合混乱をきたすので、県のデータを活用させていただきます、浸食対策と高潮対策について要望していきたいと考えております。

議員

住民の方が言っておられたように、数値データを基に県や国に訴えて、国直轄でやつ

てもらおう方向で、今後も強く要望していただきたいと思えます。次に、総合計画に上げられている男女共同参画で、この懇談会で行政側に女性の方がいないのですか、の疑問について、私も優秀な人材育成という面からも、積極的に取り組んでいただく必要があると思いますがいかがですか。

町長

意欲や能力、適性に応じて取り組んでいきたいと思っております。

議員

浅里地区において、上水道が通ってなく、雨が降ると濁り、高齢者が増え水道の管理、整備が大変なので簡易水道の早急設置の要望に對するお考えと、未給水地域への取り組みについてお伺いいたします。

担当理事

簡易水道施設整備経費には約一億二千万円から一億六千万円が掛かると聞いており、単独での事業は厳しい状態で、補助事業の可能性を検討し、未給水地域の解消に向けて努力しております。

議員

成川地区での質問で分庁舎はどうなるのか、廃止された後の有効活用についてお伺いいたします。

担当理事

平成二十年に廃止される計画になっており、商工会が入っている旧庁舎は解体撤去し、跡地を駐車場として利用していくことを考えております。

議員

分庁舎と跡地の有効利用については、住民の方と十分話し合われて一番いい方法でやっていただきたいと思います。

ゴミ問題、不法投棄対策

議員

これからは住民の方のゴミ問題に対する意識の高揚が不可欠だと思えます。ゴミ処理に掛かるお金が財政にどれだけ負担になっていますか。

担当課長

平成十八年度一般会計におけるゴミ処理に掛かる経費見込額からみてみますと、人件費も含め約二億六千万円となっており、経費割合は全体の

約五・三％で、町民一人当たりの数に換算すると、年間約二万五百円をご負担いただいていることとなります。

議員

住民の意識高揚を図るための、PR等を取り組んでいたが、ゴミを減らし、少しでも財政負担の軽減に努めていただきたいと思います。不法投棄対策についてですが、熊野市ではポイ捨て条例が改訂され、違反した場合は罰則が科されるようです。紀宝町においても、条例に厳しく罰則を取り入れるお考えはありますか。

担当課長

今後、御浜町と共に、いろんな事例を参考にしながら、慎重に検討していく考えです。

農業用水施設整備

議員

農業用ため池には、環境面、防災面での利用も含め、公益的な多面的な機能があります。そのため池が老朽化に伴い、漏水もみられ、早急な整備が必要とされています。その整備の進捗状況をお聞き

したいと思います。

担当課長

現在まで、平見池、大村池は改修が終わっております。後、おしどり池、女郎峰池と個人が持っている池については、まだ未改良です。おしどり池については、二十年度以降から基本設計を行い、県営事業が採択されれば、五カ年計画で工事を進める予定となっております。



市川 潔 議員

- ・防災無線難聴地域対策について
- ・紀宝町における遊具の点検状況について
- ・田代公園活性化及び周辺の景観整備について 他

防災無線

難聴地域対策

議員

鶴殿地区、ことぶき団地他

において、防災無線が聴き取りにくいと言われている箇所が何箇所もあり、災害が起こったときの緊急の情報伝達に支障が起きると思われるので、安心安全の観点から当局の今後の対策と取り組みの予定についてお伺いしたい。

担当理事

防災無線につきましては、昨年十八年度におきまして、旧町村の施設を一元的に管理運用ができるよう、デジタル対応総合操作卓を導入させていただきました。今後の計画といったしましては、アナログ波からデジタル波の整備に向けた計画を進めてまいりたいと考えています。

議員

今、デジタル対応の計画をされているということですが、災害はいつ起こるか分からない状況の中で、何を言っているか分からない難聴地域についての対応については、どう考えておられますか。

担当理事

鶴殿地区におきましては、現在、屋外拡声器、屋外拡声式子局が九箇所設置しておりますが、今後調査する中で緊

急情報を迅速に伝えるために、難聴地区につきましては、屋外拡声子局を増設、あるいは、個別受信機の設置をするなど、難聴地区をなくすよう、検討してまいりたいと考えております。

議員

対応を考えていただけるということで、この対策についてはいいんですが、デジタル化というものに関したら、費用も掛かりますし、町長としてのお考えをお伺いしたい。

町長

今後、全般的な防災無線の整備について、IT化など時代に合うように、いい方法を検討してまいりたいと思いますので、よろしく願ひしたいと思います。

議員

紀宝町全体に、緊急情報が伝わるようにしていただけることを願います。

遊具の点検状況

議員

昨年の点検で、平成四年田代公園に設置されていたローラー滑り台が老朽化で危険と指摘され、使用禁止となり、

今年の五月に撤去されたが、他の紀宝町全体の遊具の点検状況をお訊ねしたい。

担当課長

全体で十七公園のうち遊具のある公園は、六箇所で合計二十七遊具があり、職員が定期的に月二回、二週間おきに目視、触診、打診等の点検を行い、専門業者による点検は、本年度は、なかよし広場と中曽公園を予定し、当初予算で承認いただいております。

担当課長

教育委員会関係では、小学校六校、幼稚園一園に、本年度一斉に業者に点検を委託し、その結果四校で補修作業を完了し、学校で使えなくなった遊具につきましては、撤去しております。

田代公園活性化 周辺景観整備

議員

年間の田代公園の利用状況についてお訊ねします。

担当課長

約延べ三万四千人数ぐらいの利用があるものと思われるです。



議員
使用禁止となっているジャングルジムの今後の予定についてお訊ねします。

担当課長
腐食が著しく、新しい遊具にすれば、三百万円程度費用が見込まれ、撤去する方向で検討したいと考えております。

議員
ローラー滑り台撤去後の今後の予定についてお訊ねします。

担当課長
今後の公園の活用方法につきましては、住民の憩いの場となるように多くの方の意見をお聞きしながら、進めてまいりたいと考えております。

議員
田代公園は紀宝町の中心的な位置にあり、素晴らしい場所、その公園から遊具が危ないからということで消えていく、子どもの成長に遊具は必要と統計的な資料もあるそうです。そういった観点からも、もう一度お聞きします。

担当課長
ジャングルジムを使用禁止したままで、撤去する方法などを考えていますが、その後の活用については、まだ具体的には決めていませんので、今後、皆さんとよく相談して、一番子どもたちに活用されるような方向で、進めてまいりたいと思います。

議員
田代公園近くで、休耕田が増えているが、棚田のオーナー制等の推進、景観植物の育成の推進等の対策案が考えられるが、当局はどのように考えておられるかお訊ねしたい。

担当課長
休耕田対策として、景観作物の作付けに対して、十アール当たり一万円の助成金の交付が協議され、承認されております。

議員
景観植物の育成に対して、ある程度の助成が出るといった情報を伝えてあげていただきたいと思います。そして田代公園の活性化を願います。

矢渕中通学路 排水路整備

議員

以前から通学路で危険箇所といわれているところで、今オークワ加工場が撤去されている場所を公共団体が取得して、安全確保のため歩道整備への計画はないのですか、お伺いします。続いて、雨天時合流して、排水が駐車場北側に溢れ出て、浸水の状況を呈している中、改善対策はどのようなになっているかお訊ねします。

担当課長
歩道整備用地の先行取得をいただくよう、国土交通省へ要望を行ったところであり、

現況を判断し、先行取得の検討をするとの回答をいただいております。町としても、早期整備に向けて要望したいと考えております。また、排水路の問題につきましても、現在、国へ排水路の整備を要望しており、今後も国と調整し、早急な対策ができるよう要望してまいります。



尾畑 啓嗣 議員

・憲法改悪許さず
・年金記録はちゃんと整っているのか
・職員の賃金格差是正について

他

憲法改悪許さず

議員

安倍首相は、在任中に憲法改定を掲げ、この参議院選挙でも、改憲を争点にすると公言しています。自衛隊を全世

界で、どこへでも派兵し、戦闘できる態勢を整えるためであります。こうした血生臭い国政の動きに対して、町長はどのような考えをお持ちですか。

町長
大変難しいご質問でございます。前文には主権が国民に存在する。選挙によって選ばれた人が、国政の権力を施行する。私どもとしましては、成り行きを見守っていきたい。

議員

今、憲法を守る運動が全国の草の根で広がっています。三年前には、改憲意見と擁護意見の開きが三倍近くありましたが、今年は四十六%と三十九%とかなり迫っています。過去の教訓を活かして、公権力が国民の権利や自由を侵すことのないように、公権力の暴走に縛りをかけているのが、立憲主義という近代憲法の考え方であります。六月議会にあたり、いろんな方から憲法に対する町長の考え方を聞いて欲しいという意見をもらい、一般質問を作りました。町長、町民に向かって、自らの考えを説明してください。



担当理事

旧紀宝町、旧鵜殿村につきましては、年金記録、徴収簿なんかの台帳があります。

職員の賃金格差

議員

合併前の旧紀宝町と旧鵜殿村の生涯支給される給与総額は、行政職（給与表一）では、紀宝町が二百三十七万八千四百円多く、現業職（給与表二）では、鵜殿の職員の方が、八百十五万二千八百円多い、どう調整したのか。

担当理事

現給を保障して乗せ替えを行いました。

議員

年齢も上、勤続も上、役職も上なのに、現業職の中に、月三万円もの低い賃金しかもらえない人たちがいる。平成十七年六月議会で（旧紀宝町）私は、職員間の格差の是正を求めました。町長は、合併後調整したいと答弁されています。職員間のこのような問題は、労使間で話し合い納得できるようにお願いしたい。退職金は低い、年金少ない、一生の問題ですよ、町長。

年金記録

議員

今、大きな問題になっている年金問題ですが、紀宝町はちゃんと整っているとお聞きしましたが大丈夫ですね。

町長

ご指摘の趣旨は理解するところですが、個々に取り上げますと混乱が起きます。合意制度に基づく部分についての制度改正については、労使とも協議しながらより良い方法でやります。

議員

労使間でうまく話し合われたか、九月にお聞きします。

ダム操作規定の見直しを

議員

私は、議員になって十六回、ダムの操作規程の見直しと、ポンプアップに関して質問し、建設省にも要望活動を行ってきました。相野谷川の浸水対策は、人命と住家を守るということで、輪中堤で囲われま

台風十一号で、ダムからの放水が大きく熊野川が急激に増水し、支川の相野谷川沿線地帯の家屋や農地が、大きな被害を被ることになりました。

電源開発からは、洪水被害軽減対策として、目標水位を、風屋ダム二十四m、池原ダム二十九mに維持するように努め、ダム放流が予想される場合は、早期に放流を開始し、放流情報等の連絡を実施するとの回答をいただいております。町といたしましては、出水予想時の予想、予備放流地域住民の安全、安心を確保するダム操作を、強く要望していきます。

上水道普及

議員

北桧杖や浅里地区では、雨が降れば水道が濁る。北桧杖は、宝寿園まで七十五mmの水道管が来ている、地元と相談して早く作って欲しい。小学校跡地の活用も考えられていると聞く。宿泊施設ができても濁り水では、風呂にも入れない。浅里では、体感塾ができて、観光客も来る。美しい水が必要だ、どのような計画

か。

担当理事

一昨年から北桧杖地区は、上水道給水の設計をしております。設計見積と、区長と現地調査しております。浅里地区は、簡易水道を検討しております。

議員

地元の皆さんとしっかり話し合って決めていただきたい。

ソーラー発電

議員

環境への負荷がなく、災害時でも活用できるソーラー発電を、鵜殿港や役場、避難所等へ設置して欲しい。一基十七万円だそうです。九月補正で十基くらい設置して欲しい。

担当理事

災害時には、外部からの電力供給がなくても、避難路等へ設置すれば、夜間避難路の目印等にもなり、安全に避難所まで行くことができます。設置の検討を行いたいと思います。

アマチュア無線講習会

議員

自主防災組織を立ち上げる上で、アマチュア無線機が必要で、誰でも持ち、傍受はできますが、発信できません、是非、講習会の開催を。

担当理事

災害時、携帯電話、普通電話が使えなくなった場合、アマチュア無線は貴重な通信手段です。受講者が二十五名以上あれば地元開催も可能と聞いております。地元講習が開催できるように考えたい。

まちづくり

交付金活用を

議員

三月議会でも提案しましたが、活性化センター、産業会館を造るより、鶴殿周辺のまちづくり交付金事業を、駅周辺や、平嶋地区の要望があった、避難道路を九月補正で作っていただきたい。

担当理事

設置地区の法寿坊地区は、去年十月に、また、明見地区は、去年九月に要望書が上がってきております。法寿坊地区の延長は百十七m、幅員二m、事業費二百四十四万七千

円、明見地区の延長四十九m、幅員二m、事業費九十三万一千円、この二分の一の補助を受けたく、現在、県に申請の準備を進めております。内示が来ましたら、九月補正で対応したいと考えております。

※この他に、住民税増税反対の件、災害危険防止条例の解消の件、紀南中核的交流施設整備事業への税金のマル投



地案 光徳 議員

- ・食育運動の普及推進状況について
- ・特別支援教育について
- ・紀宝町総合計画について
- ・男女共同参画社会の推進について

食育運動の

普及推進状況

議員

食育基本法が成立して九二年。この運動は各県・各地区においても幅広く展開されています。国も朝食を食べない小学生の割合を五年後には〇にすることや、生活習慣病の予防についても取り組んでいます。当町はどのように取り組みをしますか。

教育長

学校では授業の中で取り上げながらやっております。なお、今年度から全ての小中学校でセンター方式の学校給食になり、給食時、集会時に食育の大切さを担任・養護・管理職が直接指導をしております。昨年度まで三年間、県の「食生活いきいきネットワーク」という事業を受けており、本年度で切れたのですが、各学校の要望が非常に強く、再度予算を計上し認められております。

議員

父兄が積極的に献身的に取り組まないと進まないことだと思っております。町民全体にいろんなPRを行い「食育」を浸透させてみてはいかがですか。

教育長

学校と保護者の連携は取れているんですが、地域との連携が課題です。五月に町内に栄養管理士が採用配置され、地域ぐるみで食育を広める必要があると思っています。

議員

まだ紀宝町には栄養教諭はいないんですか。専門的な知識で給食に出る食材が体内で「どういう働きをするのか」分かります。説明し、家庭での食生活の改善に保護者の理解が不可欠。今後さらに家庭への働きかけに力を入れていくべき。

教育長

この紀南地方に栄養教諭は配置されていません。来年度は是非町内にも配置していただけるよう県教委へ働きかけていきたい。

特別支援教育

議員

特別支援教育とは、障がいのある生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立ち、個々の教育的ニーズを把握し、持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善、また克服す

るため、適切な指導及び必要な支援を行うものであるとあります。当町はどのような取り組みをされていますか。

教育長

本年度の四月から特別支援教育が大きく変わり、一般的には浸透していないと思います。特別支援教育には福祉・医療・保健・教育・労働等により特別支援連携協議会の設立が大事。残念ながらまだ町内では作られておりません。

議員

LD、ADHDについては平成十八年度から十分な配慮を行い、通常の学級の中で必要であれば通級による指導を受けることができるようになったとあります。

教育長

基本的には支援教育に係わって各学校で既に行われているんですが、通級学級につきましては、町内には配置されております。

議員

障がい児には小学校高学年くらいまでに苦手意識を認め、萎縮させずに苦手以外、成長すると聞いております。この得意なところを見つ

けるのに職員・学校の先生方も苦勞するのではと思います。医師の立場からアドバイスがあれば教えていただきたい。

担当事務

学校では特別支援教室、医学的ではリハビリテーションになるんですが、社会の中でどのように生きていくのか考えていかなければいけないわけです。その方々の個性に合った教育、その方の「育ち方の教育」は当然あるだろうと思います。医者立場としては、そういう普通の方々と違った子どもさんを見たとき、「親御さんに言っているのかな」「どうしたらいいのかな」あるいはレッテルを貼るだけに終わってしまう、それだったら「もう言わん方がいいな」と子どもの将来を考えると、またその子どもさんにあつた教育をしていただけるような体制作りができればと思っています。

き、「親御さんに言っているのかな」「どうしたらいいのかな」あるいはレッテルを貼るだけに終わってしまう、それだったら「もう言わん方がいいな」と子どもの将来を考えると、またその子どもさんにあつた教育をしていただけるような体制作りができればと思っています。

紀宝町総合計画

議員

防災については、浸食された海岸保全・避難路、生活環境の充実については、定住対策、また公園・緑地の整備。上水道・生活排水処理施設の整備。保健・医療の充実。農林水産業の復興。学校教育充実等々あります。多額の予算が見込まれると思いますが、どのように工面されるのかお聞きします。

町長

基本計画に沿って、運営できるような財政運営について努力をします。

男女共同参画 社会の推進

議員

男性保育士の早期実現について、旧紀宝町当時においても質問したが一向に回答がない。当時、平成十三年に「大阪教育大学付属池田小学校児童殺傷事件」があり、色々な安全管理対策が打ち出され、少しでも安心して頼ってもらえる男性保育士の採用を取り上げ六年が過ぎましたが、いまだ男性の保育士の応募がないのかをお訊ねしたい。

担当課長

残念ながら男性の応募はありません。こちらは男女の分け隔てなく保育士の応募を行っているのですが、応募はないのです。

議員

PRをしていただき、各保育所に一人か二人は採用して欲しいです。

担当課長

子どもたちの受け入れ態勢は今のところ万全かと思っています。ただ男性保育士の有効性が必要であるということは重々承知はしております。

議員

最後に、女性の消防団の組織化は是非早期実現をしていただきたい。

担当事務

女性消防団員採用は、消防団長を始め消防団役員の皆様と相談しつつ組織化に向け早急に検討してまいりたい。



門脇庸二議員
・第一次紀宝町総合計画について

紀宝町総合計画

議員

行財政改革の断行、数値目標設定について、合併をする上において、なぜ合併しなければいけないか。財政上の問題。単独では破綻をきたす。合併を選択して、十年間の特別債なるものを、有効活用して、将来のまちづくり、紀宝町の建設を図るといえるのが、

合併の大前提であつたと思います。この行財政改革。やはり、究極の構造改革であり、財政再建に対する姿勢、曖昧にしてはいけないのではなからうかなと。紀宝町のまちづくりをする場合において、数値目標と期限。いつまでに、何をという数値目標を設定して、それに向かって、いろいろと政策を展開するというのが、一番望ましいのではなからうかなと。平成二十八年、また、その五年後の平成三十三年に、経常収支比率、公債比率、これをどのように設定、目標をおかれておるのか。

担当理事

合併当時の財政シミュレーションで、公債比率が十・七％、経常収支比率が九十四・八％です。

議員

平成十八年、十九年を見ましても、相当変わってきております。当初合併するときシミュレーションされた数字を、この十年後の第一次総合計画素案なるものの、平成二十八年度の数値に置き換えるというところに、無理があるのではないかと。このことにつ

いて、行財政改革を断行するというところで、町長のお考えの程をお訊ねします。

町長

財政につきましては、しっかりとした形の中で、取り組んでいかなきゃならないと思っております。ただ、これはあくまでも、シミュレーションでございますので、十年という年数の中で、均等に事業を処理していった形の中で、そういうシミュレーションをされておりますので、それだけの事業等をすれば、当然十年後には、目標たる数字に向かって、努力していかなければいけないし、そういう方向に進んでいくべきだろ思っております。

議員

町が栄えるか、栄えないかというのは、やはり、将来の人口の動向ではなからうかなという気はいたしております。この総合計画を見させていただきますと、目標年度である平成二十八年、推定人口一万二千百人と見込まれております。それに政策目標の要因を加えて、平成二十八年度には、一万三千人。プラス九百人の増を想定されております。

す。平成十九年四月末現在で、一万二千七百人と広報きほうで拝見しました。このままずっと横ばいでいけば、平成二十八年までには、三百人の増でいいわけですが、この人口推計、県もそういう推計出しておられますので、大きな狂いはない数字だろうと思います。若年人口、生産人口の定住を図るための方策を、具体的にどのように考えておられるのか。

町長

目標年における人口推計、一万二千百人ということで、大変寂しい数字でございます。現状の人口推移を勘案すれば、こういう数字になるのではないかと。これからの町の将来を考えると、人口減少を看過するというのは、非常に心苦しいし、この紀宝町の発展として、将来、先が暗いのではないかと思います。その辺はしっかりと補う方法で、政策的な形の中で、取り組みを進めていかなければならない。そういった思いで、政策目標一万三千人という設定をさせていただいたところでございます。その中で、若い人たちに住んでいただかなければならないという思いが強いわけでありますが、雇用の問題につきましては、なかなか一朝一夕に思うような効果も発揮できない。しっかりと地域の産業を守り、育てながら、新規の部分を含めて、コソコソと取り組んでいかなければならないだろうと思っております。これからの高速道路の整備等、そういったツールをしっかりと利用する中で、これからのまちづくりを、町民の皆様方とも一体となり、取り組んでいかなければならないと思います。

議員

平成十九年度の防災白書が内閣府によってまとめられておると思います。この地域も、東南海、南海地震、三十年以内に、いつ来てもおかしくないという時期に入っているということ、もう周知のとおりであろうと思います。そこで、防災、安全機能対策についてお訊ねします。いくつかのかわからない地震、津波。井田海岸だけではないです。当然、熊野川、相野谷川もありますが、今回、井田海岸に絞ってお訊ねします。避難路という観点から、

人命を守るという中で踏切の拡幅。この軽自動車を通りかねる踏切で、津波が来たとき人命を守るのか。井田の踏切の拡幅。タイミング的に今をおいて他に無いのではないかと。

担当理事

以前から、井田地区周辺の方々の避難路にもなることから、平成十八年十一月にJRに対して、現況柵の拡張並びに、踏切の拡幅について要望活動を行いました。安全上非常に難しいが、一度現場を確認し、交通安全等も含め、踏切整備計画等を検討していくと回答をいただいております。しかし、JRの都合もあり、現地確認をまだしていない状況であります。今後できる限り早い時期に現地をみていただくよう依頼し、現況柵の拡張並びに、踏切の拡幅の要望を引き続き進めてまいりたい。

議員

私は無理難題を言うているのではないのです。そこで、この踏切に対する、防災の避難路確保について、思いの程を町長、ご答弁お願いいたします。

町長

これから、今のJR等にも、しっかりと要望し、国の先生方のお力をお借りできるのであれば、お借りしながら、できるように取り組んでまいりたいと思います。



・公約について
矢熊 達雄 議員

—— 公 約

議員

産官学協働による新たな産業興しの進捗状況について伺いたい。

町長

十八年度において、近畿大学工業高等専門学校と連携した地域づくり事業を行ってお

ります。大学よりホームページによる情報発信の技術提供をしていただき、パソコン、携帯電話を利用して、より当町のPRや情報の発信をしてまいりたい。

議員

十八年度より取り組んでいるとの答弁ですが、産業興しに結びついているのか。大きな形で産業興しを考えていかなければと考えますが。

町長

基本的な考え方として、現在ある産業の振興を図るため、学術的に知識のある方に入ってもらい、官も参加する中でプロジェクトを立ち上げ、地域のやる気を喚起していく体制を作っていくのが大事ではないかと考えております。

議員

産業興し、地域興しについては色々な手法がありますが、私は、地域の特性を生かした産業興しが必要ではないか、雪も降らない温暖な地域ですので、第一次産業の中でも、付加価値をつけた農業の振興を図っていきけるような仕組みを作っては。行政が地域の方たちの潜在意識を引き出せるような指導力を発揮して

いただきたい。

町長

十分検討しながら取り組みを進めてまいりたい。

議員

公約の中に河口大橋の建設促進があつたが進捗状況は。それと、先だつての河口大橋建設促進の総会が新宮市で行われた中で、会員の方より会長に対し非常に厳しい意見が出されていたが、建設促進の副会長として町長はどのように感じられ、受け止められたか。

町長

早期実現をしたいという強い思いで、皆さん参加をされている。要望等の事業展開をさせていただいているが、結果的にその中身が見えづらいところがあるのではないかな、と思っています。しっかりと受け止めて、一生懸命取り組んでまいりたい。

議員

結果として皆さん方に見える形が大事ではないかと思ひます。調査費の金額がひとつの結果として現れてくるのではないか、調査費の確認をしたい。

担当課長

十六年度三百万円、十七年

度六百万円、十八年度九百万円、十九年度九百万円です。

議員

結果として十八年度と同じ金額であつたため、会員の方より危機感があつたのではないか。

町長

後退とは思っていない。この間の熊野新宮間の高速道路の総会での紀勢国道事務所の説明。それから、紀南河川国道事務所の講演の中でも、河口部の渋滞については早急に整備をしていくという話も公の場でありました。

議員

国の予算が同じ九百万円で、決して後退ではないと。しかし、一般の方、また新聞報道を見る限りの方においては、去年、新宮市で開催された総決起大会をしながら同じ予算であつたと見えるのではないか。是非とも増額できるようにしていただきたい。熊野新宮間の自動車専用道路の進捗は。伊勢の遷宮までには熊野市までが完成するが。

町長

国の直轄事業か新直轄事業でできるような取り組みをしてまいりたい。



登立 元吉 議員

・保育所の職員配置について
・上水道の未配水地問題について

――保育所の職員配置

議員

初めに保育所の問題をお聞きます。先ほど耐震について出ていましたが、この件についても何度も指摘したところですが。にもかかわらずまだその程度なのかという思いです。保育業は安全で健全にということだろうと思います。ハード面の問題もあればソフトの問題もある。施設的に大丈夫なのかとか、そこで従事しておられる方々が本当に子どもたちの保育に専念できるような状況にあるのかとか。

職員の配置表を配布していただきました。正職員の方、臨時の方、嘱託の方がおられます。この方々がその職制によつて思いが同じとはいかないと思われまます。可能な限り皆さんが本当に協働して業務に励んでいただきたいと願うばかりです。かつて保育料の問題の時には行政は人気取りではないと苦言を申し上げました。本当に調査さえ遅れていました。お金のことで合理化していくことが気になりますので聞きたいと思ひます。まず正職員の割合といつた規定はあるのでしょうか。

担当課長

児童福祉施設最低基準には正職員、嘱託という区分はなく、保育士を置くと明記されています。

議員

少ないところでは、たまたま正職員がいけないということが起こり得るのではと危惧しますが。

担当課長

各保育所には所長、その下に主任保育士を配置しており、常にいずれかが居る態勢です。

議員

この人数からすると、所長

から調理師まで含めて正職員のパーセンテージ五十七%、保育士となると四十五%、規制はないというものの子どもを預かる現場としてはいかがなものでしょう。

町長

職員、嘱託職員、臨時職員というかたちであります。同じ服務規程で業務に精励していただくことになっていきます。

議員

雇用側と被雇用側の違いがあると思います。希望、指示それは町長のおっしゃるとおりだと思います。でも人間というものはそんなに単純ではないか。管理職になつていられる方々の養成ということも含め、優秀な職員を育てていくことも考えて、もつと正職員を増やすお考えはありますか。

町長

保育についてはそれぞれがプロです。資質向上を目指して研修等しており、子どもたちの健全な発達が図れるような取り組みを進めていきたい。

議員

すると、正職員の割合を増やすお考えはございませんか。

町長

人材育成も必要でございますので、その辺とのバランスを計りながら考えていきたい。

—— 上水道未配水地問題

議員

上水道の件でお訊ねします。現施設の給水能力はどの程度ですか。

担当理事

一日最大七千五百五十四トンです。

議員

未配水地を全てカバーしたとしたら、この給水能力で可能ですか。

担当理事

可能です。

議員

同僚議員の質問に対して、浅里地区では簡易水道の考えをお持ちのようですが、これは今までに練ってきた案でしょうか。あわてて考え出したことでしょうか。北桜杖については宝寿園に給水する時にも北桜杖までという意見もありました。全町的な計画をお持ちなのでしょうか。

担当理事

未給水地四地区ございまして、条例では北桜杖と桐原地区

区が入っています。浅里地区は外れていますが、簡易水道という検討を始めています。要望書が上がっている北桜杖地区については、コンサルタントを入れて地元区長と現地調査もこの六月初めにやっています。

議員

随分前から出ていた北桜杖が今調査ということですが、今まで何をしていたんだろうという気持ちです。例えば、小畑にしても、本管が通っているところから自分の費用で引きなさいというものです。体育館の前は教育委員会の管轄です。すると下から延々とということになります。道路の話をする、東京や大阪の方は費用対効果のあるところからと言います。では地方はどうなるのか。格差という言葉が使われます。ライフラインといわれる水を受けるために、高負担を強いられるのでしょうか。密集地の町民だけが潤ったらそれでいいのでしょうか。

町長

私も議員同様、別に格差をつけようというわけではありません。解消に向けて頑張っ

て努力してまいります。

議員

最後に一点確認します。成川地区の石綿管の取り替えは済みでしたか。

担当理事

全部は済んでいないと聞いております。



平野 美津子 議員

・生涯学習センター「まなびの郷」の町章について
・庁舎増築の設計者の選考について

—— まなびの郷の町章

議員

合併して一年以上になりますが、生涯学習センターに旧鶴殿村の村章がついたままです、なぜですか。

教育長

これまで私は、村章が残っ

ていることにあまり気にかけたことがなくて、通告を受けてから、帰宅途中、仕事途中等で日高橋から見ると、確かにセンターに村章が見えます。それを見まして、外壁をいずれ塗り替えなければならぬときか、あるいは何かのときに撤去したらいいのではないかなと考えております。議員のお話では、たくさんの方が疑問に思うという声があったんですが、村章が残っているというのがおかしいという指摘を私も教育委員会も今まで聞いたことがありません。管理している職員にいま



議会運営委員会

でそういう話があったかどうかを確認させてもらったんですが、これまで看板屋さんを営んでいる一人の方から指摘があったが、他にはなかったということでした。

今のところそのようなところに費用を使わないで、内容の充実が必要であるというふうに考えております。旧鶴殿村の芸能関係などは、日本一小さな村と書かれた法被などがそのまま残っていて、発表会をしているという現実があります。そういうふうないろんなことを考えますと、それほど早急に村章だけを撤去する必要がないのではないかと思っております。

議員 壁の張り替えは何年後になりますか。

教育長 年数につきましては確認はしております。

町長 早い時期にそういった塗装等については、出てくるのではないかというふうに思います。

議員 合併して心新たにいい町を作ろうと思っているときに、

与える影響は大きいと思います。前向きに検討いただきまして、取り替える方向で検討してください。

教育長 議員さんのおっしゃることはよく分かりましたので、検討させていただきたいと思います、よろしく願います。

——庁舎増築設計者選考

議員 庁舎増築の設計は、日新さんに随意契約ということですが、その理由は、日新設計は高い高度な技術と高い信頼性があるとおっしゃいました。地元の方にはないと考えているのですか。

町長 そういうことではございません。地元の設計業者さんも、しっかりした技術と経験を持っておられると認識をいたしております。基礎工事も絡んでまいりますし、熟知されていることもございますし、この庁舎のメンテナンスも行ってきていただいております。他の自治体での鉄筋コンクリートの大きな建物もや

ってきたということでございますので、技術と経験を持つておられる信頼できる業者であるというふうに思っております。匠の方は意匠というような言い方をされますが、そういうことが十分理解されて、連動して整合性を踏まえて増築の部分の設計等にも当たっていただけるのではないかと思います。

議員 私もこの間の診療所の設計者の選考のとき、地元の設計士さんがどんな仕事をされているのか調べさせていただきました。かなり大きな建物等を設計されていました。地元で仕事がなく業者さんが困っているときに、地元の方も入札に参入できるかたちで契約できないものかという立場で質問させていただいています。

町長 できるだけ地元の方でやっていただくという形にさせていただきたいというふうに思っております。維持修繕また増築等につきましては、大変申し訳なく思いますが、経験というか、携わってこられた方が一番熟知されているとい

うことでございます。

議員 この庁舎は、資格を持つている設計士さんが資料を見て分からないような建て方をしているのですか。

町長 今度取り壊して、そこに接続するようなかたちでございます。耐震の問題も絡んでいきます。

議員 入札で町長さんの思いが実現できないのですか。イエスカノーで答えてください。

町長 十分引き続いて整合性を持つて、町民の皆様に喜んでいただける設計ができるのではないかと、そういう業者さんにお願ひしていきたい。

議員 入札でそれぞれの持たれた感性とかデザイン性とかを、選考することができないのではないですか。もちろん建てられた方が一番熟知しているということは、私も認識しております。それなりの資格をお持ちの専門家の方が、それを理解できないことはないと思うんです。私は日新設計さんを入れるなどは言っています

ん。指名願を出している方が、参入できる公正な方式でやってほしい。経済効果等も考えて、どの法律を根拠にそのように決められたのですか。

担当理事

地方自治法二百三十四条の二項の規定により、六号で「競争入札にすることが不利と認められるとき」、七号が「時価に比して著しく有利な条件で契約を締結することができの見込みのあるとき」となっています。

議員 格差の時代と言われていますが、公費で行う事業に対して、公平に提案することができない。新しいものを建てる時しか入札に参入できない。自治体によっては、地元の業者に随意契約しているところもあります。日新設計さんがやらないと接続できない壁ですか。

町長 耐震の強度を考えても熟知されている人がベターと思っています。

議員 そうしますと、耐震のチェックは設計した業者さんしかできないんですか。

町長

今、耐震について、検査させていただいておりますが、入札でしています。

議員

私が先ほどから言っているのは、公平性を主張しているのです。有利性を抽象的に説明していただいても分かりま

せん。

※この他に、駅前の駐輪場建設の件、議会の公開の方法の件、寺地・里中線の排水路の件、PFI事業による合併浄化槽事業の件、介護保険事業の件について質問がありました。



石垣 憲一 議員

・保育料の未納について
・災害時における自衛隊派遣について

保育料の未納

議員

保育料の未納について、過去五年間、年次別に何世帯あるのか。その金額は。

担当課長

平成十四年度十七件、百二

万四千百九十円。十五年度四十二件、三百二十五万八千三百二十四円。十六年度八件、七十七万六千百円。十七年度十五件、八十六万六千円。十八年度十七件、百七十一万三千三百円。合計九十九件、七百六十三万七千九百十四円となっております。

議員

納付率はどうなっているのか。

担当課長

納付率は九割以上となっております。

議員

未納の理由はどうなっているのか。

担当課長

保育料は昨年の収入で算定します。今年は収入がないので未納となってしまった、というのが主な理由となっております。

議員

保育料について時効はあるのか。

担当課長

地方自治法の二百三十六条で、地方税と同じ時効は五年であると明記されています。

議員

時効五年以外の不納欠損は

どうなっているのか。

担当理事

行方不明、死亡が考えられます。

議員

滞納期間中、生活保護世帯になった場合の対応はどうするのか。

担当理事

死亡と同じく、町の判断によつて不納欠損にする場合があります。

議員

通所、通園拒否という処置はとれないのか。その処置をとった場合どうなるのか。

担当課長

保育所というのは児童福祉法に基づいた施設であるので、原則として拒否はできないというかたちになってます。

議員

未納回収にあたって民間委託はできないのか。

担当課長

沖縄県那覇市が行っているようですが、紀宝町におきましては職員で対応していきたいと思っております。

議員

今後どのように指導、対応していくのか。

担当課長

最悪、差し押さえ等の滞納処分が法律上は可能ですが、なるべく徴収相談ということ、毎月払っていただけるような方法を取っていききたいと思っております。

議員

保育料未納は自治体の負担、強いては他の園児のサービスの低下に繋がるといことになる。入所・入園時に保護者と行政がきちっとした書類を交わして、未納がないような体制を作っていたかどうか強く要望します。

災害時自衛隊派遣

議員

派遣、出動のための災害基準はあるのか。また派遣要請の手続きは速やか、かつ簡単に行えるのか。

担当理事

自衛隊法第八十三条の規定に基づき、災害応急対策に万全を期するものとされており、また自衛隊の判断に基づいて部隊が自主派遣される場合と、震度五弱以上の地震発生時などに情報収集のため自主派遣がされると聞いてい

ます。

議員

町長判断で急を要する場合は、書類手続きは後で電話で要請できるということですね。道路が寸断され、空路、海路からの支援が考えられませんが、このとき鵜殿港がその機能を十分果たせるのか。

担当理事

鵜殿港につきましては、広域的に道路が寸断された場合に備え、海上輸送ルートの港湾として、中央防災会議幹事会で定められています。受け入れ態勢としまして、荷揚げされた救援物資等の保管は鵜殿体育館を予定しております。

議員

紀宝町総合訓練も年一回実施しているが、自衛隊との防災訓練も考えてみてはどうか。

担当理事

総合防災訓練は昨年は十二月三日に開催し、今年は九月九日に予定しています。多くの住民の参加を得るためにも様々なプログラムを考えています。今後、自衛隊との合同訓練等も視野に入れ検討していきたいと考えております。

議員

自衛隊との防災訓練において、経費はどの位掛かるのか。

担当理事

経費につきましては、自衛隊の方から出してくれると聞いております。

議員

経費は掛からないということですから、是非、現実になるようよろしくお願いします。自助、共助、公助と説明を受けましたが、公助について行政の体制は整っているのか。

担当理事

組織図の原案はでき上がっています。各課の役割分担もできています。今回、地域防災計画の作成で補正をお願いしています。その中で全てできると思っております。

議員

自治法でも謳われているように、生命・財産はもとより、やはり住民一人ひとりが安心して暮らせるという、本当にただ単純なことが大前提だと思います。地震対策につきましては万全を期していただけよう強くお願いをしております。

可決された議案

●専決処分の承認

・紀宝町税条例の一部改正

・紀宝町農村地域工業等導入地区における固定資産税の特例措置に関する条例の一部改正

●紀宝町立学校設置条例の一部改正

・休校としている北松枝小学校を廃校とするものです。

●紀宝町委員会の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

●紀宝町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

・休息時間を廃止するもので、条例改正に伴い、勤務時間や休息時間を定めた規則の改正も併せて行い、本年七月一日から、保育所、幼稚園及び学校等を除く、役場各機関の開庁時間を、現在の八時三十分から午後五時十五分までから、十五分延長されて、午後五時三十分までとするものです。

●紀宝町総合計画（基本構想）の策定

・紀宝町総合計画（基本構想）は、合併の際に策定された「新町まちづくり計画」で掲げられた、将来像や基本理念を踏まえ、平成十九年度から平成二十八年度までの十年間における、紀宝町の基本的な指針となるものです。

●紀南社会福祉施設組合規約の変更に関する協議

●平成十九年度一般会計補正予算

●平成十九年度老人保健特別会計補正予算

意見書

●日豪EPA／FTA交渉に対する意見書

編集後記

町では、今後十年間における基本的な、新町まちづくりの指針となる第一次紀宝町総合計画を策定しました。

本当に合併して良かったと、誰もが心から思えるまちづくりに、住民の皆様と互いに知恵を出し合い、力を合わせて取り組んでいくことが大切だと思います。

そうする中、七月十六日に新潟沖中越地震「M6・8、震度六強」が発生し、他人事ではない状況です。地震や津波に対する防災や備え、地域の協力体制や、震災時の心のケアの取り組み強化が急務です。今何をやらなければいけないかを見極め、実行していくことだと思います。

安心・安全で住みよいまちづくりのために、どうか皆様のご意見や、ご提案をよろしく願います。

「議会だより」（第5号）
（文責 西村）

編集委員

向井 健雅 石垣 憲一
西村喜久男